

比治山大学

子ども発達教育学科

ニュースレター3号

■4年生、続々と進路決定！

今夏実施された教員採用試験の結果が届きました。この採用試験を合格した学生は4月から小学校教員として子どもたちの前に立つことになります。

●公立小学校教員採用試験合格者（10月6日現在）

各自治体の小学校教員採用試験の結果は次の通りです。

自治体	合格者
広島県	9名
広島市	4名
島根県	3名
鳥取県	1名
高知県	3名
愛媛県	1名
北九州市	7名
合計	21名

●進路決定 喜びの声

広島市教員採用試験合格

本当に頑張って良かったと思います。一次試験対策は3年後期の小学校教育実習終了後、各教科の目標や指導要領解説を確認するようにしました。特に教職教養は毎日過去問題を解き、間違えた問題だけを集めて自分用の問題集を作りました。二次試験対策は模擬授業と面接の練習をひたすら行い「反省しては再度やってみる」を繰り返しました。合格通知が届くまではずっと不安でしたが、その分合格の喜びはひとしおでした。まずは来春4月から休まず勤務できるよう、生活リズムを整えて体力をつけたいと思います。



高橋優太（広島県立高陽高校出身）

島根県教員採用試験合格

地元の島根県で教員になることを夢にこれまで頑張ってきました。そして、この度、島根県教員採用試験を受け合格することができました。採用試験までに、自分で時間を設定し学習をしてきましたが、比治山大学では対策講座を受けることもできます。多くの先生方に各教科の対策をしてもらったり、2次試験でも面接や模擬授業の練習を見ていただいたりしました。また、私のように広島県以外を受験する場合でも、その希望する県の過去問から対策をしていただきました。比治山大学で学んだことを活かし、これから島根県で一人一人に寄り添える教員になれるように頑張っていきます。



佐々木華（島根県 明誠高校出身）

3号館オープンテラスからの眺望



HIJYAMA

広島大学大学院合格

3年後期の教育実習を通して発見した課題である、児童の「主体的な学び」を生み出す授業デザインについて理論と実践を往還しながらより学びを深めたいと考え、大学院への進学を決意しました。

小学校の教員採用試験と同時並行で受験をしたため、教員採用試験対策で身に付けた知識を生かしながら大学院入試に臨みました。これから2年間の大学院での学びでは、大学で学んだ知識を更に深めたり、理論と実践を往還していく上で新たな知識や知見を身に付けたりしたいと考えています。大学での学びに加え、大学院での学びを生かし、大学院修了後には広島市の新人教員として児童の成長に携わっていきたいです。



坂川大樹（広島市立舟入高校出身）

■メキシコと日本の懸け橋になる夢の実現に向けて！

海外長期研修中の学生を紹介します

子ども発達教育学科4年生の沖原大陸（おきはらりく）さんは、現在メキシコで1年間の研修に参加しています。メキシコの文化や教育を研究していた沖原さんは、「日本とメキシコの懸け橋になりたい」という思いを強くし、両国の絆を深めるための研修（正式名称：日墨戦略的グローバルパートナーシップ研修計画）に応募しました。

その結果、広島県選考、外務省の最終選考に合格。2023年10月～2024年7月までの1年間、メキシコの大学で、国費の研修生として研修することになりました。

将来は、小学校教師となって、スペイン語を母国語とする国から来日した子ども達の支援をしたいそうです。沖原さんの夢の実現に向けて比治山大学から応援しています。



宮谷学長に選考の合格を報告する沖原さん

沖原大陸（飛鳥未来高校出身）

■高校生みなさんへ

めざすは未来に輝く子どものサポーター

「小学校・幼稚園・保育園の先生になる。」

「将来、子ども関連の仕事がしたい。」

夢をもっているみなさんを子ども発達教育学科では全力でサポートします。私たちと一緒に夢を実現させましょう！

※子ども発達教育学科、入試、オープンキャンパス等の詳細は比治山大学ホームページをご覧ください。

<https://www.hijiyama-u.ac.jp/departament/kodomohattatsukyoku/>



友だちとの語らい、授業の予習復習、個人の研究...
多くの学生が自由に利用できるスペースです。

3号館オープンスペース



HIIYAMA